

# 小中連携道徳通信2号

切串小学校・江田島小学校・江田島中学校 発行者：川中 健太

## ■10月1日(火) 切串小学校での授業実践

教材：「東京オリンピック 国旗にこめられた思い」(6年生) (C国際理解, 国際親善)

概要：1964年の東京オリンピックの際に国旗作りを任された吹浦忠正さんの功績を取り上げました。

国旗作りに情熱を注いだ吹浦さんの思いをすることで、他国の文化について理解を深め、児童が進んで国際親善に努めようとする態度を養う授業となりました。

### ▼授業板書

### ▼中心発問の検討

事前打合せの際に、担任の吉弘先生から指導書記載の中心発問は抽象的で児童の実態に合っていないという意見を受け、次のように発問を変えました。

Before：「2020年の東京オリンピックに受け継がれる「思い」とはどんな思いでしょう。」

After：「吹浦さん（主人公）はどんな思いで国旗を作ったのでしょうか。」

主人公の思いに焦点を当てた中心発問にすることで、国旗作りに情熱を傾けた吹浦さんの思いについて考えさせ、まずはそれぞれの国の人の文化を知ることが国際交流の第一歩となることについて考えさせることができました。当たり前のことですが、児童生徒の実態を踏まえた上で発問を吟味することはやはり大切です。

### ▼道徳ノートの記述(抜粋)

進んで他国の人と交流するためには何が大切？

- ・他国の文化や伝統を知ろうとすることが大切。日本のことについてももしっかり知っておくことが大切。
- ・優しく声をかけたり，日本のマナーを教えることが大切。

## ■ TOPICS

### ◎児童生徒の思考を深める発問とは？

- ①児童の実態に即していて，心が揺さぶられるような発問
- ②児童が自由に自分の感じ方や考えを表現でき，多様な価値観や考え方が出る発問
- ③何を問うているかが明確な発問
- ④自分の事として考えられるような発問
- ⑤誰にでも答えられるような発問

※「やさしい道徳授業のつくり方 鈴木由美子 宮里智恵」より抜粋

## ■今後の小中合同研修の予定

ご確認の上，参加可能な先生方をご参加お願い致します。

★11月18日（月）研究授業（切串小学校にて）4，5校時 講師：宮里智恵先生（広島大学大学院教授）

1年生 住本 真弓教諭：「二わの ことり」

6年生 吉弘 優衣教諭：「最後のおくり物」

★11月27日（水）研究授業（江田島小学校にて）5校時 講師：宮里智恵先生（広島大学大学院教授）

5年生 佐々木 亮教諭：「すれちがい」

## ■授業での学びを生活に生かすための取組

授業で学んだことを教室掲示することで，授業で学んだことを学校生活の中でも振り返られるようにしています。要望があれば作ります。ぜひ活用していただければと思います。

左から小1，小6，中2で実際に作った掲示です。

